

令和3年度 社会福祉法人双樹会事業計画書

【理 念】 『我々グループは幸齢社会を創ります』

我々グループは、今後増大する高齢者の医療、福祉の要望や要請に対応したサービスを創造する社会的使命を自覚し、精神的、肉体的苦痛や負担を軽減し、残りの人生を安心して幸福に送って頂ける環境を提供します。

I 基本方針

2040年を見据えた中長期的な経営基盤の強化、機能充実、人材確保に向けた健全運営に取り組みます。また第8期介護報酬改定に伴い、社会福祉法人運営において、感染症や天災が発生した場合においても、必要なサービスを安定的・継続的に提供できる体制を構築し、法人内でのリスク管理・対策強化、地域との災害連携協力において、事業継続の基盤として法人運営に反映していきます。

在宅・施設ともに医療との連携が重要であり、重度化対応、認知症ケア、看取りケアとより専門的な知識、技術によるサービス提供、ACP（人生会議）視点でのマネジメントが必要になります。また科学的介護の取組を推進し、機能訓練、口腔、栄養、認知の専門領域を一体的なケアマネジメントの実践に取り組みます。

処遇改善の標準化、介護ロボット導入、ICTの活用、介護機器更新による業務効率化の推進、職場環境の改善に向けた取組を推進し、WEB研修等の充実、資格取得支援等による人材育成、人材定着、人材確保に取り組んでいきます。

II 重点課題

1. 自立支援・重度化防止の取組の推進
 - ・機能訓練、口腔、栄養の一体的な連携強化
 - ・アウトカム評価と科学的介護の取組
2. 感染症や災害への対応力強化
 - ・業務継続計画の策定
3. 人材確保・人材定着・介護現場、職場環境の効率化
 - ・ICT化、介護ロボット、介護機器導入による業務・職場改善効率化の推進

Ⅲ 組織運営

1. 会議の開催

- ・理事会 年2回、随時開催 ・評議員会 年1回、随時開催
- ・管理者会議 事業所別会議の定期開催
- ・委員会の定期開催
入所検討・リスクマネジメント・身体拘束適正化・
感染災害対策・安全衛生・安全・虐待防止

2. 社会福祉法人双樹会組織図・職員配置表 (別紙)

Ⅳ 事業

1. 施設部門

(1) 特別養護老人ホーム [定員50床]

＊ 稼働率 98%

① 自立支援・重度化防止の取組の推進

- ・機能訓練、栄養、口腔の一体的な連携強化
- ・科学的介護の取組
- ・自立支援促進の取組
- ・アウトカム評価の取組
- ・認知症対応力向上
- ・専門性向上のための各委員会活動

② 人材確保・育成・定着

- ・年間計画での外部研修への参加、勉強会の開催
- ・介護機器導入による業務効率化の推進

③ 地域貢献

- ・介護教室、介護相談会開催
- ・地区社協との協力連携
- ・地域行事への参加、協力、連携
- ・ボランティア受入、連携
- ・講師派遣

(2) 短期入所生活介護事業所 [定員8床]

＊ 稼働率 85%

2. 在宅部門

(1) 通所介護事業所 [定員 35 名]

- ・ 1 日平均利用者数 23 名 (介護・総合)
- ・ 実利用者数 80 名 (介護 65 名・総合 15 名)
- ・ 新規利用者数 36 名 (介護 33 名 総合 3 名)

① 自立支援・重度化防止の取組の推進

- ・ 機能訓練、栄養、口腔の一体的な取組
- ・ 科学的介護の取組
- ・ 自宅入浴へ向けた入浴介助の取組

② 専門性の高いサービス提供の実践

- ・ 中重度の対象者であっても社会性の維持を図り在宅生活の継続のケアを計画的に実施するプログラムの作成 (中重度ケア体制加算)
- ・ 認知症の症状の進行の緩和のケアを計画的に実施するプログラムの作成 (認知症ケア加算)
- ・ 年間計画での勉強会の実施

(2) 居宅介護支援事業所 [主任介護支援専門員 1 名 介護支援専門員 2 名]

- ・ 介護給付利用者 月 105 件
- ・ 予防給付利用者 月 36 件
- ・ 介護認定調査 年 30 件
- ・ 特定事業所加算Ⅲ

① 住み慣れた地域での継続的な生活の支援

- ・ 状態の維持・改善を目指した自立支援型ケアマネジメントの実践
 - 【要介護度の維持改善】
 - 【自立支援型のケアマネジメントの実践】
 - 【24 時間相談における対応】
- ・ 公正中立適切な質の高いケアマネジメントの実践
 - 【事業所内研修の実施・事業所外研修の参加】
 - 【フィードバック情報活用マネジメントの実践】
 - 【AI・ICT 活用のマネジメント実践】
- ・ 地域包括支援センターとの情報連携

② 医療機関等との情報連携強化

- ・ 主治医との情報連携
- ・ 中重度者・看取り期の利用者対応
 - 【入院時、平時からの医療機関との連携促進】
 - 【退院・退所時の在宅生活への円滑な支援】

3. (広島市受託) 広島市城山・五日市観音地域包括支援センター

必置職員 6 名・地域介護予防拠点整備促進事業 1 名
 高齢者地域支え合い事業 1 名・予防プランナー 1 名

- ① 健康づくりと介護予防の促進
 - ・介護予防拠点の立ち上げ支援及び運営支援
 - ・介護予防教室の開催
- ② 自立支援と重度化防止
 - ・介護予防マネジメントの質の更なる強化
 - 【地域ケアマネジメント会議・事例検討会の開催】
- ③ 見守り支え合う地域づくりの推進
 - ・地域における見守り・支え合い活動等の促進
 - 【高齢者地域支え合い事業の推進】
- ④ 在宅医療・介護連携の推進
 - ・多職種連携のための情報交換会の開催
 - ・人生会議（ACP）の普及啓発活動
- ⑤ 認知症地域支援体制づくりの推進
 - ・個別ケースに対応した支援体制と認知症の人と家族等に対する地域支援体制づくりを進める。
 - 【認知症サポーター養成講座の開催】
 - 【地域ケア会議の開催】

V 防災体制の充実

1. 計画に基づいた各種訓練の実施

訓練種別	実施月	訓練内容	備考
総合訓練	5 月 1 0 月	夜間体制	消防署立会
部分訓練	5 月 1 0 月	消火	消防署立会
災害感染対策訓練	9 月 1 月	災害 ・ 感染	
伝達訓練	5 月 1 0 月	一斉メール	

※災害発生時の福祉避難所の設置・非常食の備蓄

2. 点検の実施

点 検 者	点 検 月
広島総合警備保障（法定点検）	7 月 1 月
火元責任者（自主点検）	4 月 1 0 月

Ⅵ ボランティア登録

団体・氏名	活動内容	活動日
観音西地区社協	レクリエーション・外出等	毎週火曜日
伊賀 浩子	書道	第4火曜日
山本 茂穂	生花	行事

Ⅶ 陽光の家家族会との共催行事 令和3年度事業計画

年月日	行事内容
令和 3年 4月	家族会総会
令和 3年 6月	介護教室
令和 3年 7月	夏祭り
令和 3年 9月	敬老会
令和 3年11月	介護教室
令和 3年12月	忘年会
令和 4年 3月	役員会

Ⅷ 設備等の管理

1. 備品・修繕

設備備品・修繕	時 期	内 容
設備・備品	令和 3年度	ナースコール（特養） 介護ベッド（特養） 天井式リフト（特養）
介護機器	令和 3年度	見守りシステム（特養）～R4年度
屋内外改修	令和 3年度	LED入替 エレベーター入替（～R4年度）

2. 車両管理状況

事 業 所	車 両 管 理
介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業所	リフト付ハイエース（平成27年4月） リース
	リフト付ハイエース（平成26年2月） リース
	タント車椅子（平成26年2月）
通所介護事業所	セレナ（平成23年6月）
	ハイゼット車椅子（平成29年3月）
	セレナ車椅子（平成31年4月） リース
	リフト付ハイエース（平成22年1月）

居宅介護支援事業所	トール（平成31年2月） リース アルト（平成28年2月） リース バイク2台
地域包括支援センター	ミラ（平成23年4月） リース ミラ（平成27年12月） リース ミラ（平成27年12月） リース アルト（平成28年4月） リース バイク2台

3. 建物等維持管理状況

建物の機能の維持と耐久性の確保などを目的に委託管理及び自主点検の実施

委 託 業 者	委 託 管 理 内 容
中国電気保安協会	電気設備点検 電気事故
メンテナンス広島	エレベーター管理・汚水槽
広島自動ドア販売	自動ドア管理
ネボン(株)	ボイラー管理
広島総合警備保障	消防設備点検
センター事業団	清掃、ワックス管理